



みんなで子育て

西濃県務所 振興防災課 振興防災係
家庭教育推進専門職 酒井
電話:0584-73-1111 <内線212>
E-mail : sakai-toshinori@pref.gifu.lg.jp

家庭教育についての
相談はこちらまで。
お待ちしております。



家庭教育応援通信
令和6年度バックナンバー

学校の外部講師授業の学びを保護者にひろく

親と子が同じ話を聞くことで、家での会話が增えたり、ルールを決めやすくなったりします。

安八町立結小学校 家庭教育学級

いのちのお話 受精卵から誕生まで

令和8年1月13日(火)
5年生親子 10:00~10:40
6年生親子 11:00~11:40



家庭教育学級を全学年に広げる

結小学校では、昨年度まで1年生のみで家庭教育学級を行っていましたが、家庭教育は学年に関係なく大切なことだと考え、今年度からは、全ての学年で家庭教育学級を行っていただいています。

今回の講師は、「Birth For the Future@ぎふ」の代表と副代表。そのうち、お1人は結小学校の保護者です。

昨年度は、2年生の生活科の授業で子どもたちに話をされました。そのことが縁で、今回、5、6年生の家庭教育学級の講師として、お母さんの立場からの「いのちのお話」をしていただきました。



「いのちのお話」 講師 Birth For the Future@ぎふ

- 赤ちゃんを産む場所は、自分で選ぶことができる。
病院 : お医者さん
助産院 : 助産師さん
自宅出産: 助産師さん(兄姉がへその緒を切ることもある)
- 産まれ方もいろいろ
経産分娩 計画帝王切開 緊急帝王切開
- 陣痛は苦しい。地球に生まれるために、お母さんと赤ちゃんが力を合わせている。
- 生まれる前、産まれた後に亡くなる命もある。
流産 死産 誕生死
- お父さんにもできることがある。(カンガルーケア、沐浴など)
- 針の穴ほどの大きさの卵から赤ちゃんとなって地球に生まれて、皆さんみたいに大きくなることはすごいこと。

子どもと共に学ぶ「講演会型」



Birth For the Future@ぎふ

年齢や性別を超えて、地域全体で妊娠出産環境を目的に、妊娠から産後までのケアを温かく、優しいものにするための活動をしています。



お母さん、お父さんとは隣どうし。「私はどんなふうにもう生まれたの?」と聞きながら、お話を聞いていました。自分たちの生まれた時のことを親子で話し合ってもらうのも今回の大切な目的です。

児童の感想

- お母さんだけでなく、お父さんも赤ちゃんが育つのをサポートしていると思いました。
- 赤ちゃんは、お母さんとお父さんが協力して、大変な思いをして生まれてきたと思います。
- お母さんに感謝の気持ちをもちたいです。そして、「産んでくれてありがとう」と伝えたいです。

校長先生の言葉

・出産は苦しいと言われ、自身も不安でしたが、命が生まれた喜びにつつまれました。その時の子どもが、今度は子ども(孫)を産み、新しい命につながりました。命がつながることをとても幸せに思っています。皆さんは、「『産んでくれてありがとう』と親に伝えたい」と言いますが、あなた自身が精一杯生きることが、一番の感謝、恩返しだと思います。

海津市立石津小学校 家庭教育学級

おやつのとおり方(食育講座)

令和8年1月23日(金) 13:40~15:15
4年生親子対象

毎年定番の家庭教育学級

石津小学校では、4年生の家庭教育学級で、カルピヤおやつ隊員を講師に、おやつについて学んでいます。午後からの2時間の授業に保護者の方も一緒に参加し、おやつについて考えました。

あらかじめ子どもたちにとってアンケートによると、おやつを食べることについて保護者から注意されることは、下記のようにマイナス面の内容が多いようです。

「なぜおやつを食べるのか」「どれくらい食べるとよいのか」「袋の栄養成分表示を見よう」の大きく3つのプログラムで親子一緒に考えました。

講師の方は、

「子どもたち対象の授業が多いのですが、こうして保護者の方も一緒に参加していただくと、家庭でのおやつとり方を一緒に考え、変えることができます。」と、親子で学ぶことの大切さを話されました。

よく注意されること

- ①夕ごはんが食べられなくなるよ! 26人
- ②手を洗いなさい! 18人
- ③こぼさないで食べなさい! 17人
- ④食べすぎると太るよ! 12人
- ④むし歯になるよ! 12人

やってみましょう!

おやつならべかえゲーム

エネルギー量が多い順は?

- ① ヨーグルト無糖小鉢 1杯120g
- ② ミルクチョコレート 1枚50g
- ③ バニラアイス 1カップ700ml
- ④ ポテトチップスうすしお味35g
- ⑤ リンゴMサイズ300g (可食部255g)



親子で学ぶ「講演会型」

グループで話し合い、1回に食べるポテトチップスを袋から取り出して量ります。



最後に、まとめとして、エネルギー量の多い順に並び変えるクイズをしました。石津小の子は、グループ中、エネルギー量が正解でした。このページのどこか(答えは、このページのどこか)にあります。

- おやつ2つの役割
 1. 体に栄養(3食の食事で摂り切れないエネルギー補給)
 2. 心の栄養(おいしい、ほっこり、癒しになる)
- 1日のおやつ目安は、200kcal
 - ・ 1日必要なエネルギー約2000kcalの約10分の1
 - ・ ポテトチップスなら、35g(普通サイズの約半分)
 - ・ 食べ過ぎたら、「いっぱい運動、いっぱい勉強、次の日のおやつ調整。」
- おやつは、ごはんの2時間前までに食べる。
- パッケージ裏の栄養成分表示にあるエネルギーを参考にしよう。



【講座申し込みについて】

派遣にかかる費用はありません。平日開催のみです。開催日が決まってから申し込みます。申し込みは小学校の先生に限ります。電話での受け付けはなく、HPの申し込みフォームから予約します。



参加された保護者

おやつのことをあまり意識していませんでしたので、勉強になりました。これから、声のかけ方を考えます。

【クイズの答え】①⑤④②③

海津市にこにこ子育て応援隊講座&家庭教育学級合同講座

のびのびかいづっ子「太巻き寿司教室」

令和8年1月24日(土) 10:00~13:00 小学生親子対象
主催：海津市レクリエーションクラブ

父も母も子どもも主役！みんなで楽しむ太巻きづくり

海津市家庭教育推進協議会（海津市家庭教育支援チーム）には、8つのボランティア団体が所属し、親子向けに講座を行っています。今回主催の海津レクリエーションクラブは、その1つで、恵方巻として太巻きを親子で作る講座を行いました。今年で18回目です。

「今のお母さんは、高い恵方巻を買っちゃうけど、安く作れるよと伝えたい。親子で巻くのも楽しいね。」

今日の講座のキャプテンの北島さんが話してくれました。

今日は、1人2本、太巻きの他、サラダ巻きも作ります。お母さんだけでなく、お父さんの参加もありました。それぞれのテーブルに食材とラミネートされた作り方が用意されているので、北島さんの説明の後、それを見ながら協力して、かんぴょうや人参を煮たり、卵を焼いて細く切ったりして、具材の準備を始めました。

酢飯ご飯と白菜と塩昆布の漬物は、レクリエーションクラブのメンバーと海津市文化・スポーツ課の職員が別室で用意しました。

具材が準備できると、いよいよ巻きます。海苔と酢飯、そして具材をのせ、具が動かないように巻きます。初めて巻く子もお母さんの補助で上手に巻くことができました。お父さんは、残った具材を全部入れての大太巻きに挑戦。巻けるかどうかお子さんはひやひやして見ていましたが、なんとか無事に巻けて、お父さんもほっと安堵。手作りの巻きずしは、パックに入れて、家族へのお土産です。

最後に、恵方巻を食べる作法も教えてもらいました。今年の節分では、南南東を向いて、手作りの恵方巻を食べることができますね。



卵を割る。かんぴょうを煮る。キュウリを切る。子どもたちが大活躍。これも、家庭教育。自立への第一歩となります。



お母さんと一緒に、気持ちを合わせて、くるり！上手に巻けました。

豪快に具材を入れるお父さんの大太巻き



中学生は、受付のボランティアをしてから、一緒に作りました。後日、家庭教育推進協議会より「ボランティア活動参加証明書」が発行されます。

海津市が講座の案内、募集をします。

令和7年度 海津市にこにこ子育て支援事業

にこにこ子育て応援隊 講座のご案内



子育て中のみなさんを応援する講座を、今年度も開催いたします。「子どもとのコミュニケーション・子育て中のストレス発散、悩みの交流・子育てのスキルアップ」など、市民活動ボランティア団体（にこにこ子育て応援隊）主催で実施します。

子育ては「今」が大切。お子さんの「今」は二度とないのですから、このチャンスをぜひ生かしてください。

◇申込み：下記QRコードからお申込みください。

◇締め切り：5月20日(火)

後日、各主催団体より案内があります。

◇問合せ：文化・スポーツ課

☎0584-53-1536 FAX 53-1569

E-mail: bunkasupotsu@city.kaizu.lg.jp

◇共催：海津市家庭教育推進協議会

文化・スポーツ課



参加申し込みに係る個人情報は講座運営以外の目的で利用することはありません。

にこにこ子育て応援隊 講座のご案内

楽しいママまつり

楽しいあひのわ

あじさい広場かいづ

はっぴはウス=こたん家

親子でやっほい！のわがを親は行会

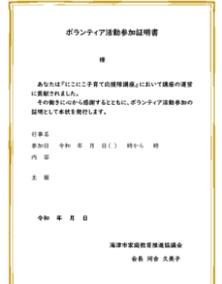
谷のほろ交流会

わいわい交流会

あじさい広場かいづ

はっぴはウス=こたん家

親子でやっほい！のわがを親は行会



垂井町立垂井こども園 家庭教育学級
「みつけよう、みんなのステキなところ」

令和8年1月19日(月) カード配布 全保護者対象
 20日(金)～27日(火) カード貼付期間

保護者が
**“子どものステキ”を
 見つけ、掲示する
 「在宅取組型」**



書いて、貼って、伝え合う 親子のふれあい活動

垂井こども園の保護者が送り迎えの時、必ず通る園庭に面した壁面に、保護者会が作成した節分にちなんだ掲示が貼られました。子どもの送り迎えで園を訪れた保護者は、家でわが子のステキなところを書いた丸いカードを貼り付けていきました。



カードには、わが子のステキでいっぱい! 「弟、妹にやさしい」「お話大好き」「明るい・元気いっぱい」「〇〇に夢中」など。中でも、一番多かったのは「笑顔」でした。

子どもは1日に300回～400回笑うそうで、たくさん笑う子どもは、自己肯定感が高く、好奇心旺盛で、人生を前向きに歩む力をもつことができると考えられています。(ちなみに、大人は子どもの20分の1しか笑わないそうです。)

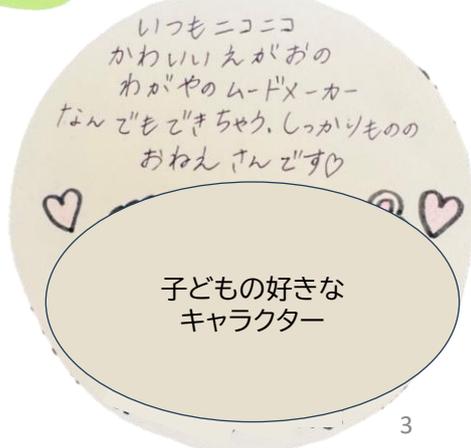
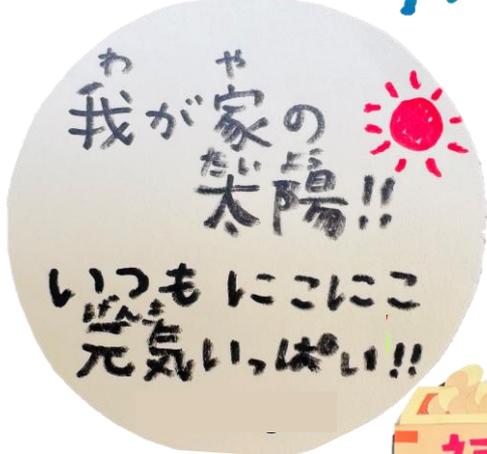
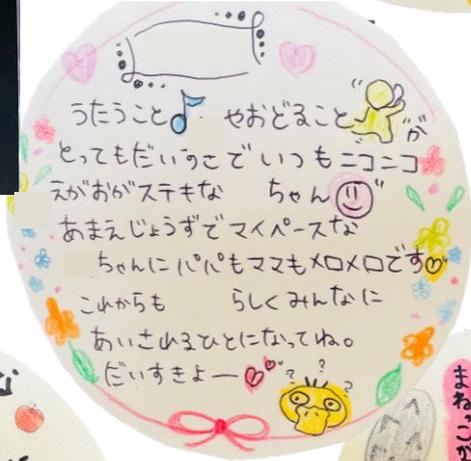
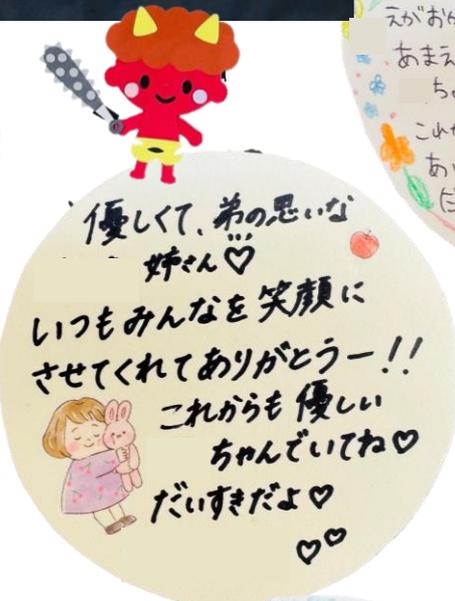
親子が笑顔でいられる時間がずっと続くことを願ってやみません。また、生活参観では、3歳児は保護者がわが子のステキなところを発表し、4歳児はおうちの人のステキなところを発表するそうです。ここでも、温かなひと時が生まれるでしょう。

鬼がやってきたー!
 取材したのは、ちょうど節分の日(2月3日)。子どもたちは、鬼たちを追い出すため、新聞紙の玉をいっぱい用意していました。現れた鬼は本物のよう。果敢に玉をぶつける子もいれば、泣き出してしまふ子も。でも、大丈夫。鬼が出ていったあとは、園長先生が福の神になって、子どもたちに福を入れて回りました。

**みんなのステキな
 ところで“オニ”を
 やっつけよう**



掲示には、色とりどりの用紙を貼り合わせたかわいい鬼たちがいっぱい。保護者の方が作られました。



土岐市立泉小学校附属幼稚園 在宅取組型 家庭教育学級

親子で笑顔になれるほっこりタイム「おはなのぼっけ」

日時 令和7年11月～今年度いっぱい(予定)

参加者 園児とその保護者

田中園長先生の園の経営方針
やる気・元気・大好き
3つの木を育てよう →お花へ

「やったー!今日はおんぶしてもらえる!」



「今日は手をつないで 帰りまーす!」

「おはなのぼっけ」のやり方紹介

忙しい毎日の中で、ちょっとした“ほっこり感”や“幸せ感”に気づいていますか?

特別なことはしなくても、『ほっこり幸せ親子時間』は、毎日の日常にあるかもしれませんね。

*おはなのぼっけから、幸せタイムのプレゼントです。

ぜひ、親子で楽しんでください。

【遊び方】

- 1 降園時、「おはなのぼっけ」から1枚カードを引く
- 2 カードの内容を親子で確認し、「おはなのぼっけ」に返す
- 3 カードの内容を親子で楽しむ♪
- 4 次の日、またチャレンジ

泉幼稚園では、この11月から園とPTAが協力して「おはなのぼっけ」の取組が始まりました。東濃西部の家庭教育学級リーダー研修会に参加された方は、「ほっこりんごちゃん」の取組といえば、聞き覚えがあるかと思います。今年から、園の経営方針「やる気、元気、大好き」に合わせて「お花のぼっけ」と名前をかえて取り組んでいます。リーダー研修会でも多くの方から「いいねー。」の声が上がった取組を紹介します。

子どもたちは迎えに来たおうちの方と一緒に帰るとき、「おはなのぼっけ」からカードを引きます。そのカードのミッションを親子で実施する取組です。

子ども達は、笑顔でぼっけからカードを引いていました。その内容をお家の方と確認するときも笑顔。この取組を楽しみにしている様子が伝わってきます。この日は、PTA会長の小幡さんも一緒に立ち会っていただきました。小幡さんは、リーダー研修会でこの取組を紹介して下さった方です。取組の内容がとても素敵だったので、さっそく他の園でも「やってみました。」との声を聞きました。この日も、親子ともども笑顔の降園風景でした。

取材して、文字通り降園のお迎えに「はな」を添えていると感じました。カードを見合う親子のふれあいの様子がとても微笑ましかったです。



今日は何かな? みんなが覗きこみます。



見守るおうちの方も思わず「ほっこり!」

カードの言葉は、保護者が考えました。

幼稚園から帰る時だけでなく、お買い物の時、食事の準備の時、テレビをみる時、お風呂に入る時、夜眠る時など、親子で取り組むいろいろなミッションがあります。

よる おねるとき

- スばんき よんでもらおう
- ぎゅっぴとしよう
- からだをさすってもらおう
- (やさしいことばといっしょにねか)
- おはなをさしよう(生まれたときのこと)
- おはなをさしよう(きょうあったこと)
- 「だいすき」をたくさんいってもらおう



加藤副園長先生に伺いました。

「子どもたちに人気のミッションは?」

意外と年長の子たちが、スキンシップを求める傾向があります。なので、「かえるときにちよっとだけおんぶ」「夜ねるときギュッとしよう」というような取組が人気のようです。取組を続けてきたら、時々、自分の好きなカードが出るまで、何回も引き続ける子もありました。この間は、一緒にお迎えに来ていた小学生の子もカードを引いていました。微笑ましかったです。

保護者の方に伺いました。

この間、カードで「夜寝るときにお話ししよう(生まれたときのこと)」が出ました。ベットの中で子どもが生まれてきたときのことを話していると、「ぼくは、階段を上がって出てきた。」と子どもの方からも話をしてくれ、ビックリしました。生まれてきたときのことを覚えているんでしょうか。

親子のかかわりを少し意識してもらうだけで、子育ての楽しさ・幸せを味わえることに気づかせてもらえる取組でした。